

【東日本版】

石の総合
カタログ

石 図鑑

大切にしたい。
ご供養のこころを…



洋型

現代的でシンプルなデザイン洋型墓石。洋型墓石は高さも低く作られるため、安定感があり、視界が開けるため明るい雰囲気を感じるのが特徴です。墓石に刻む文字も、故人の好きだった言葉やご家族のお好きな言葉を刻むことも出来ます。



洋型の正面には、様々なバリエーションがあり、和型と同じ「家名」か「宗派に関する文字」以外にも、好きな文字や花の彫刻をいれることが出来ます。

外柵タイプのお墓で、門柱がある場合、家名などを彫刻することが出来ます。両家墓の場合、左右の門柱にそれぞれの名字を入れたりすることも出来ます。

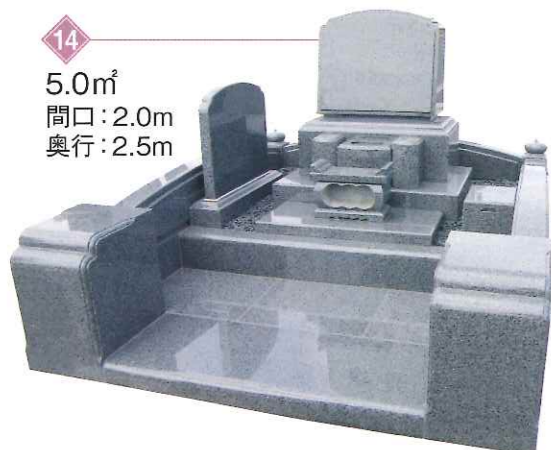
11
4.5㎡
間口：1.8m
奥行：2.5m



10
4.5㎡
間口：1.8m
奥行：2.5m



14
5.0㎡
間口：2.0m
奥行：2.5m



13
6.0㎡
間口：2.0m
奥行：3.0m



12
5.0㎡
間口：2.0m
奥行：2.5m



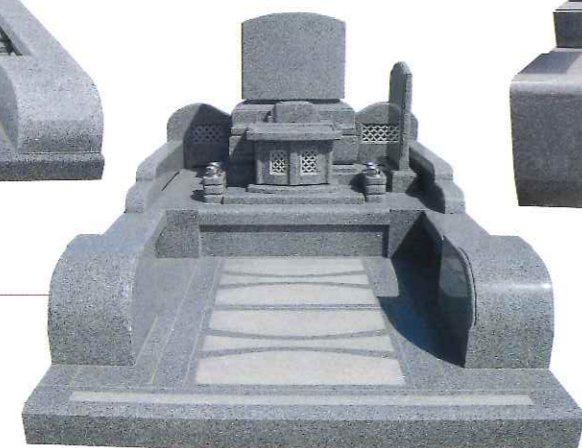
16
6.0㎡
間口：2.0m
奥行：3.0m



15
6.0㎡
間口：2.0m
奥行：3.0m



17
6.0㎡
間口：2.0m
奥行：3.0m



2



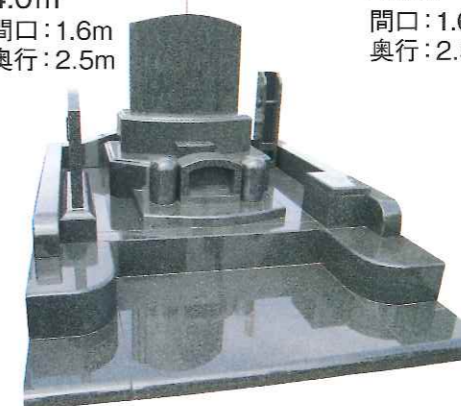
1



5
4.0㎡
間口：1.6m
奥行：2.5m



4
4.0㎡
間口：1.6m
奥行：2.5m



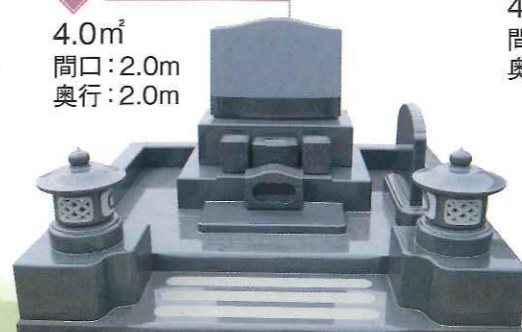
3
4.0㎡
間口：1.6m
奥行：2.5m



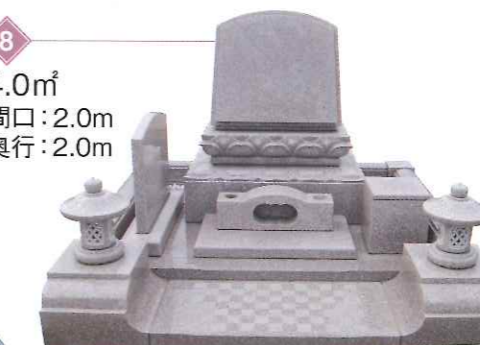
6
4.0㎡
間口：2.0m
奥行：2.0m



9
4.0㎡
間口：2.0m
奥行：2.0m



8
4.0㎡
間口：2.0m
奥行：2.0m



7
4.0㎡
間口：2.0m
奥行：2.0m



お墓の豆知識

Q お墓はいつ建てるものですか？

A お墓は建てる時期について決まりはありません。仏事の機会をとらえて建前されることが多いようです。

仏事まわり お盆まで又は、春の彼岸・秋の彼岸まで。 没後まわり 納骨の日とされる四十九日・百か日・一周忌。

法事まわり 三回忌・七回忌・十三回忌・十七回忌・二十三回忌。三十三回忌などの法事の前。

和型

和型墓石は縦に長く、背が高いのが特徴です。江戸時代に原型が確立し日本に浸透しました。細部に細工を加えた個性的なものも増えてきています。和型墓石には意味が有り、日本の和型墓石は伝統的な形といえます。

石塔が一番上に竿石(棒石)次に上台、中台、下台(芝台)をもうける四段墓石が主流となっています。竿石と上台の間に布団台(スリン台)を入れたり、蓮華台を入れた特別型もあります。

バリアフリーで階段がなく、平らな入り口になっているのでお参りがしやすくなっています。

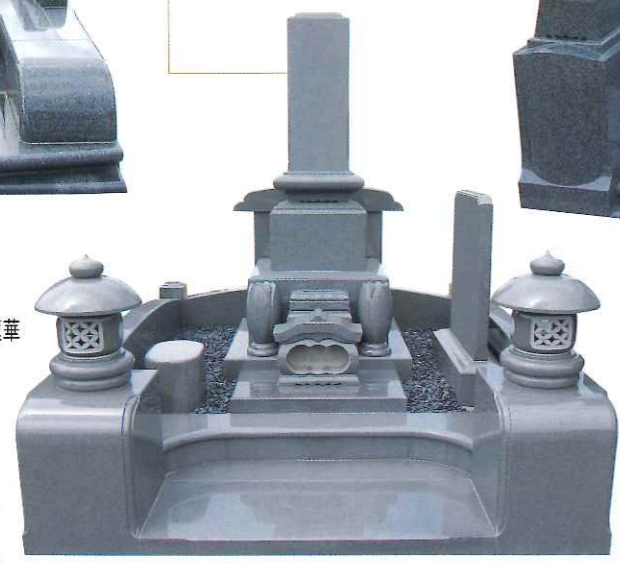


8
4.5㎡
間口:1.8m
奥行:2.5m



7
6.0㎡
石塔:1尺1寸角スジ蓮華
間口:2.0m
奥行:2.9m

9
5.0㎡
石塔:1尺1寸角スリン
間口:2.0m
奥行:2.5m



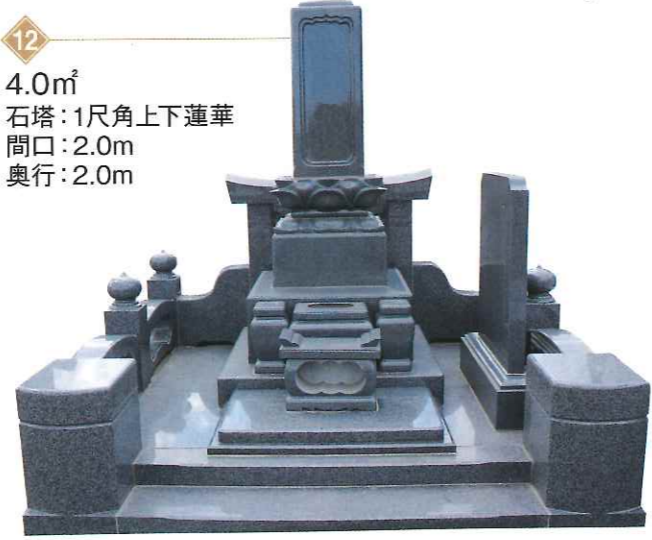
10
6.0㎡
石塔:1尺1寸角上下蓮華
間口:2.0m
奥行:3.0m



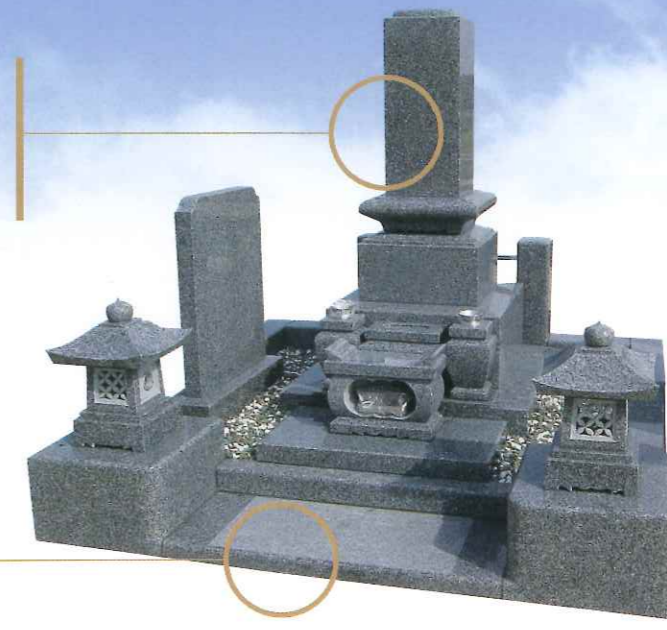
11
6.0㎡
石塔:1尺1寸角
間口:2.0m
奥行:3.0m



13
4.0㎡
石塔:1尺角上下蓮華
間口:2.0m
奥行:2.0m



12
4.0㎡
石塔:1尺角上下蓮華
間口:2.0m
奥行:2.0m



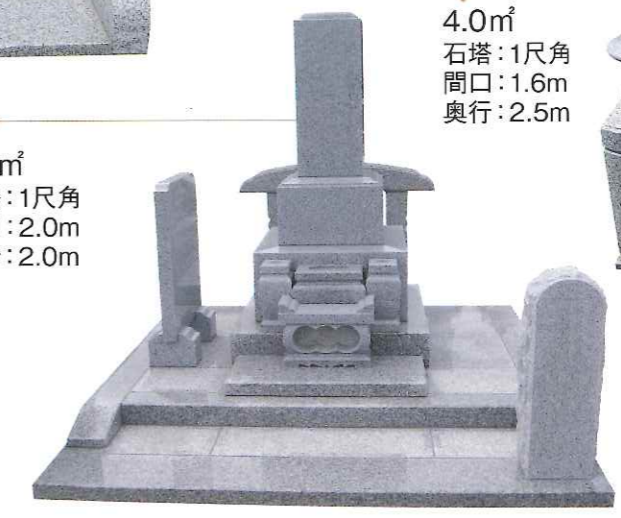
1
3.6㎡
石塔:1尺1寸
間口:1.8m
奥行:2.0m



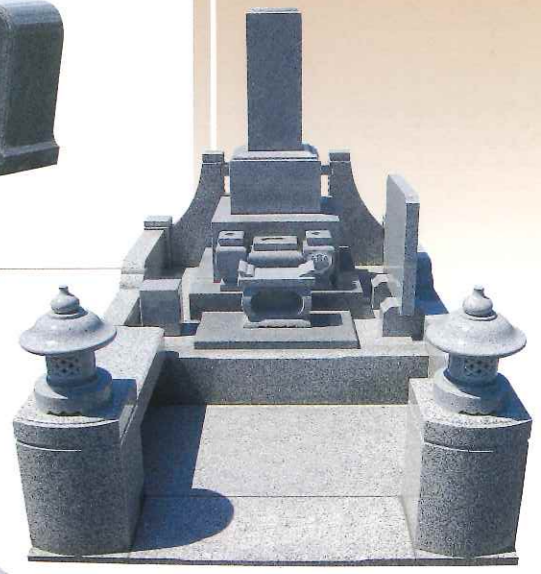
2
4.0㎡
石塔:1尺角
間口:1.6m
奥行:2.5m



3
4.0㎡
石塔:1尺角
間口:1.6m
奥行:2.5m



4
4.0㎡
石塔:1尺角
間口:2.0m
奥行:2.0m



5
4.0㎡
石塔:1尺1寸角上下蓮華
間口:2.0m
奥行:2.5m



6
4.0㎡
石塔:1尺角スリン
間口:2.0m
奥行:2.0m



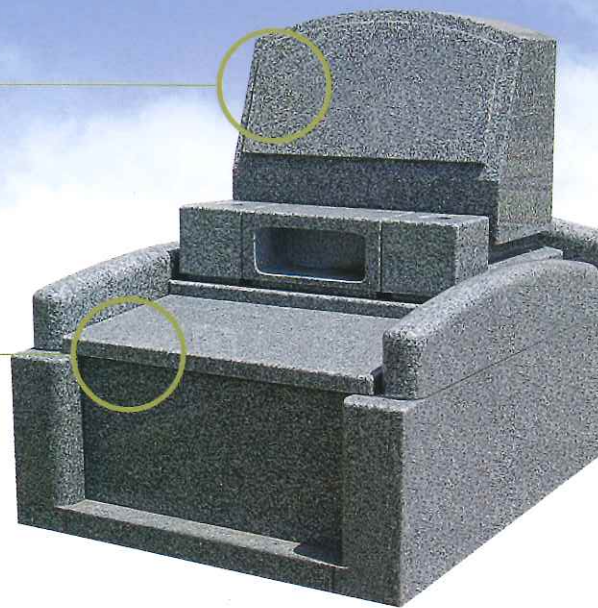
お墓の豆知識

Q お墓を建てるのは生前でもいいの？

A 生前にご自分のお墓を建てることを「寿陵(じゅりょう)」といいます。「生前に施す仏事は、死後の追福よりも七倍のご利益がある」という仏教の教えにもあるように、寿陵は縁起がよいものと考えられます。ただし、生前に墓石を建立した場合は、建立者名を朱色にしておくのが一般的です。相続税がかからず節税対策にもなります。

丘カロート

お墓の構造には、カロート(納骨室・納骨棺)と呼ばれる場所があります。丘カロートは、墓石・丘納骨の一体型となるため、費用を抑えて納骨スペースを確保できます。寺院墓地や民間霊園に多く、面積が狭い墓地であっても建墓が可能になります。



機能上の最大のメリットはお手入れのしやすさです。一番上までらくらく手が届き、いつでも綺麗なお墓を保つことができます。

カロートには、地下カロートと丘カロートがあり、構造が一段式の場合と二段式の場合があります。



11
1.0㎡
間口:1.0m
奥行:1.0m

10
1.0㎡
間口:1.0m
奥行:1.0m

9
1.0㎡
間口:1.0m
奥行:1.0m

14
1.8㎡
間口:1.2m
奥行:1.5m

13
1.8㎡
間口:1.2m
奥行:1.5m

12
1.44㎡
間口:1.2m
奥行:1.2m

1
0.4㎡
間口:0.5m
奥行:0.8m

2
0.64㎡
間口:0.8m
奥行:0.8m

15
1.8㎡
間口:1.2m
奥行:1.5m

16
3.0㎡
間口:1.5m
奥行:2.0m

5
0.8㎡
間口:0.8m
奥行:1.0m

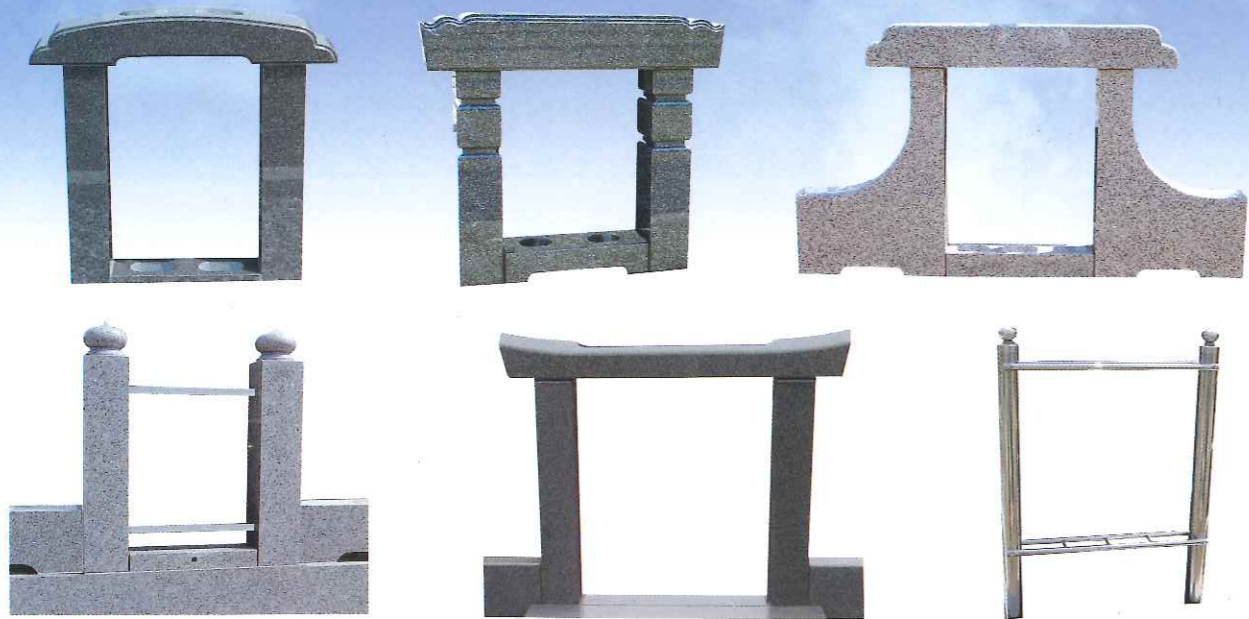
4
0.72㎡
間口:0.8m
奥行:0.9m

3
0.72㎡
間口:0.8m
奥行:0.9m

8
1.0㎡
間口:1.0m
奥行:1.0m

7
1.0㎡
間口:1.0m
奥行:1.0m

6
0.8㎡
間口:0.8m
奥行:1.0m



塔婆立



高級角墓前燈籠 丸墓前燈籠 角墓前燈籠



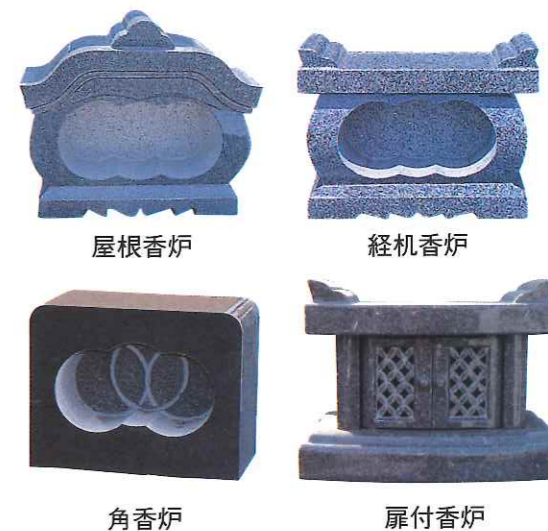
燈籠

お墓の付属品

えらべる付属品



墓誌



香炉



木瓜加工(もっこう) R加工 香箱加工 箱型 下駄足型



物置台

花立



灯籠

その他の石製品

丸雪見 六角雪見 蘭溪 勧修寺

奥之院 太閣



地藏尊

丸仏地藏 墓相地藏 舟形地藏



玉砂利

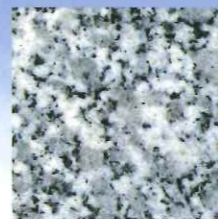
白玉石 五色玉石 黄金石 黒みがき

石の種類



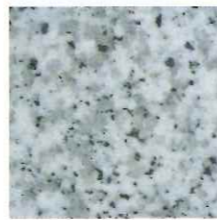
真壁小目

広くは墓石材として使用され歴史は鎌倉時代にさかのぼります。



真壁中目

細かな粒子がつくり上げた、優美な最高級石材のひとつです。変色しないのも特徴で、この石には小目と中目があります。



稲田

優白色が美しい花崗岩で、高級石碑・高級外柵として使用されています。



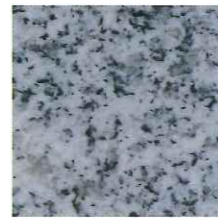
羽黒糠目

均一な構成の石目が特徴です。高級石碑・高級外柵として使用されています。



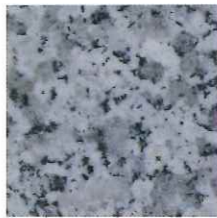
庵治

淡い青色に鱗状のかすかな紋様が特徴です。現在は最高級石材です。採石量は近年激減。



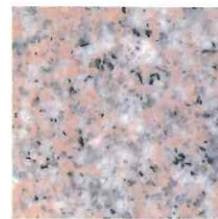
603

世界で最も産出され、日本でも20年以上前から使われているポピュラーな石で、墓石にもよく使われています。



623

日本で最も多く使われている「白みかげ石」です。ごまお模様の中に薄桜色の結晶がまざっているのが特徴です。



663

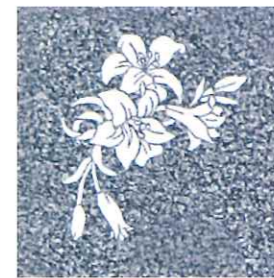
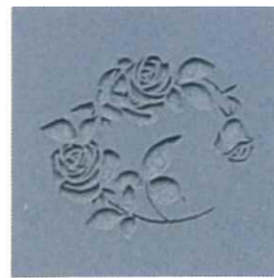
自然の結晶からできた桜みかげと呼ばれるピンク色の石です。女性的なやさしい雰囲気をご希望の方におすすめです。



山西黒

中国の代表的な「黒みかげ石」です。黒の墓誌板の大半は山西黒で、硬度は非常に硬いのが特徴です。

花の彫刻



書体

一般的な墓石に使われる書体は「楷書体」「隷書体」「行書体」「草書体」の四種類があげられますが、自筆のものや書家に依頼したもので刻めます。

現在もっとも一般的に使われている書体です。端正に整った印象になります。

楷書体 佐藤家之墓

歴史の古い書体です。波を打つような筆跡に特徴があります。

隷書体 佐藤家之墓

楷書体よりも少し崩した感じの書体です。筆書きらしい味が出ます。

行書体 佐藤家之墓

行書体よりも字面に大きな省略があり、文字ごとに独特の省略がされています。

草書体 佐藤家之墓

源氏車	抱角	丸に蓮ノ羽	隅切角	丸に抱沢瀉	左二ツ巴	丸に花菱	丸に離れ立葵	中陰松皮菱
轡	丸に撫子	丸に並鷹ノ羽	隅入角	沢瀉に水	左三ツ巴	丸に剣花菱	丸に右離れ立葵	丸に松皮菱
釘抜	丸に梅鉢	丸に鷹	六角	丸に片喰	右三ツ巴	丸に花角	五本骨扇	丸に卍
丸に連釘抜	丸に剣梅鉢	陰鷹	八角	剣片喰	丸に左三ツ巴	七曜	日の丸扇	丸に五本骨扇
丸に連矢	梅	中陰鷹	組合角	丸に片喰	左三ツ丁字巴	丸に九曜	丸に五本骨扇	丸に卍
丸に並矢	加賀前田家梅鉢	丸に三ツ尻合鷹鬼	隅切角に三ノ字	丸に三ツ柏	丸に茶ノ美	桜	丸に三ツ扇	丸に卍
八本矢車	唐団扇	鷹	隅切角に三ノ字	丸に蔓柏	丸に七五福笹	山桜	檜扇	丸に卍
丸に左三階松	丸に三ツ鱗	丸に鶴の丸	丸に三木	丸に桔梗	五三の桐	丸に九枚笹	丸に並扇	上り藤
丸に右三階松	五爪に唐花	丸に四ツ豆	丸に抱巻荷	丸に花菱	丸に五三の桐	丸に五三の桐	丸に地紙	丸に上り藤
左提付三階松	丸に二ツ引	丸に七宝に花菱	丸に隅立四ツ目	丸に龜甲に花菱	丸に五三の桐	丸に五三の桐	抱扇	下り藤
丸に武田菱	丸に内二ツ引	七宝に花角	丸に平四ツ目	丸に龜甲	菊水	八曜に月	丸に三ツ銀杏	丸に下り藤
丸に木瓜	丸に三ツ引	丸に一の字	丸に三ツ目	丸に抱柏	三ツ茶ノ美	渡辺星	丸に隅立并筒	軸付下り藤
中輪に四方木瓜	丸に三階菱	丸に抱袴	丸に橘	丸に唐花	丸に笹龍胆	丸に渡辺星	丸に井柙	左三ツ藤巴
庵木瓜	中陰三階菱	対い鶴	三ツ橘	丸に櫻の葉	石川家龍胆	細川家九曜	井柙に木瓜	揚羽蝶
丸に洲浜	丸に五爪に唐花	諏訪鶴の丸	丸に三本足橘	丸に結雁金	丸に立ち沢瀉	長門三ツ星	丸に三ツ石	浮線蝶

家紋

お墓の構成



水鉢・花立(みずばち・はなたて)

中央が水鉢、左右一対が花立です。水鉢は死者と墓参者を結ぶ「いのちの水」をたたえるものです。

竿石(さおいし)

埋葬した目印として建てる石の墓標で、墓石とも言います。

塔婆立(とうばたて)

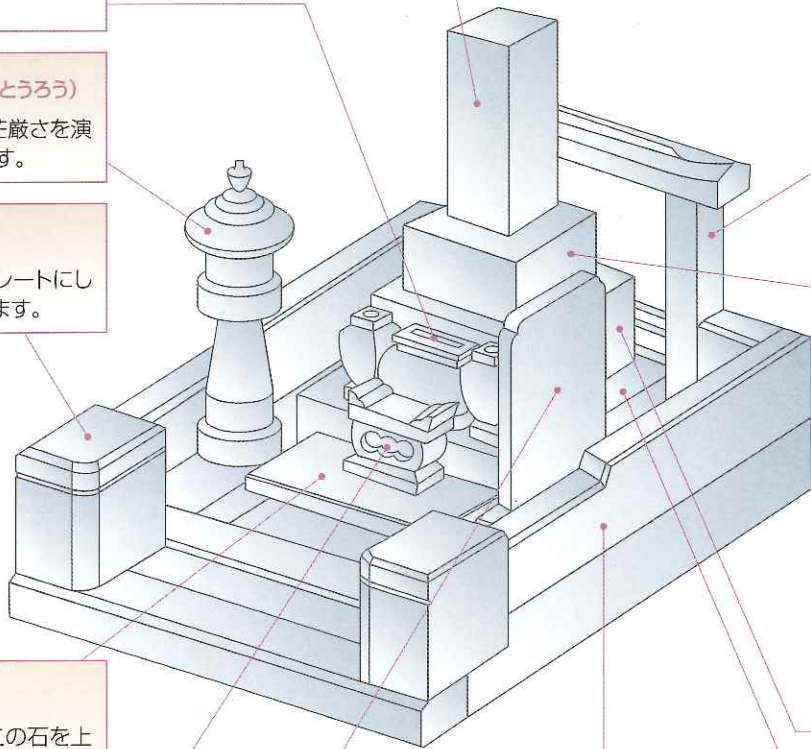
納骨や年忌法要のとき、これに卒塔婆を立てます。外柵に組み込む場合もあります。

墓前灯籠(ぼぜんとうろう)

死者の供養や墓所の荘厳さを演出するために設置します。

親柱(おやばしら)

家紋や区画番号をプレートにしてはめこむこともあります。



拝石(はいせき)

下にカロートがあり、この石を上げて骨壺をいれます。カロートの開閉部あたりに、その蓋を兼ねます。

上台(じょうだい)

「人」「動産(事業・金銭)」を表していると言われていいます。

中台(ちゅうだい)

「地」「不動産(財産・家)」を表していると言われていいます。

香炉(こうろ)

線香を供なえるためのもの。線香をくり抜き部分に寝かせます。このほか、線香を立てるタイプのものであり、香立てと言います。

墓誌(ぼし)

戒名・死亡年月日・享年・俗名を刻む石です。葬った順に右側より刻んでゆきます。単独墓では、故人の作った詩や楽譜を彫刻する場合もあります。

外柵(がいさく)

墓所の境界をはっきりさせるためのもので、いくつかの部位で構成されています。

芝台(しばだい)

墓石全体の偉容を高めます。また、納骨棺(カロート)の保護、香炉・花立ての置き台となります。